

## 2. 課題整理

守口都市核周辺に関わる課題について、以下のように整理できます。

### 課題1 玄関口に相応しい都市基盤整備と都市機能導入による都市イメージの向上

守口都市核周辺は、早くから鉄道や道路網が発達し、行政・文化・商業施設が集積するなど、便利なまちという印象がある一方で、緑やオープンスペースが少ないこともあり、人が憩えて快適に過ごせる空間が不十分なところがあります。そこで、これから整備をスタートさせる都市計画道路や公共施設跡地の整備活用之际には、人中心という視点を大切に、市の玄関口として相応しい佇まいや新しい都市イメージの創出に向けた取り組みが必要です。

1. 市の玄関口として相応しい都市基盤整備
2. 新しい都市イメージを創出する魅力的な都市機能の導入
3. 公共施設用地等の積極的な活用
4. 駅前やまちなかの緑・オープンスペースの充実化
5. 都市景観、玄関口の顔づくり

### 課題2 賑わいと交流・まちの回遊性、都市活力の向上

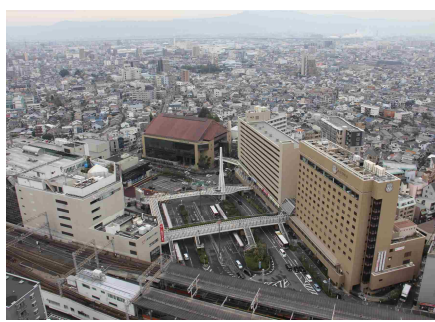
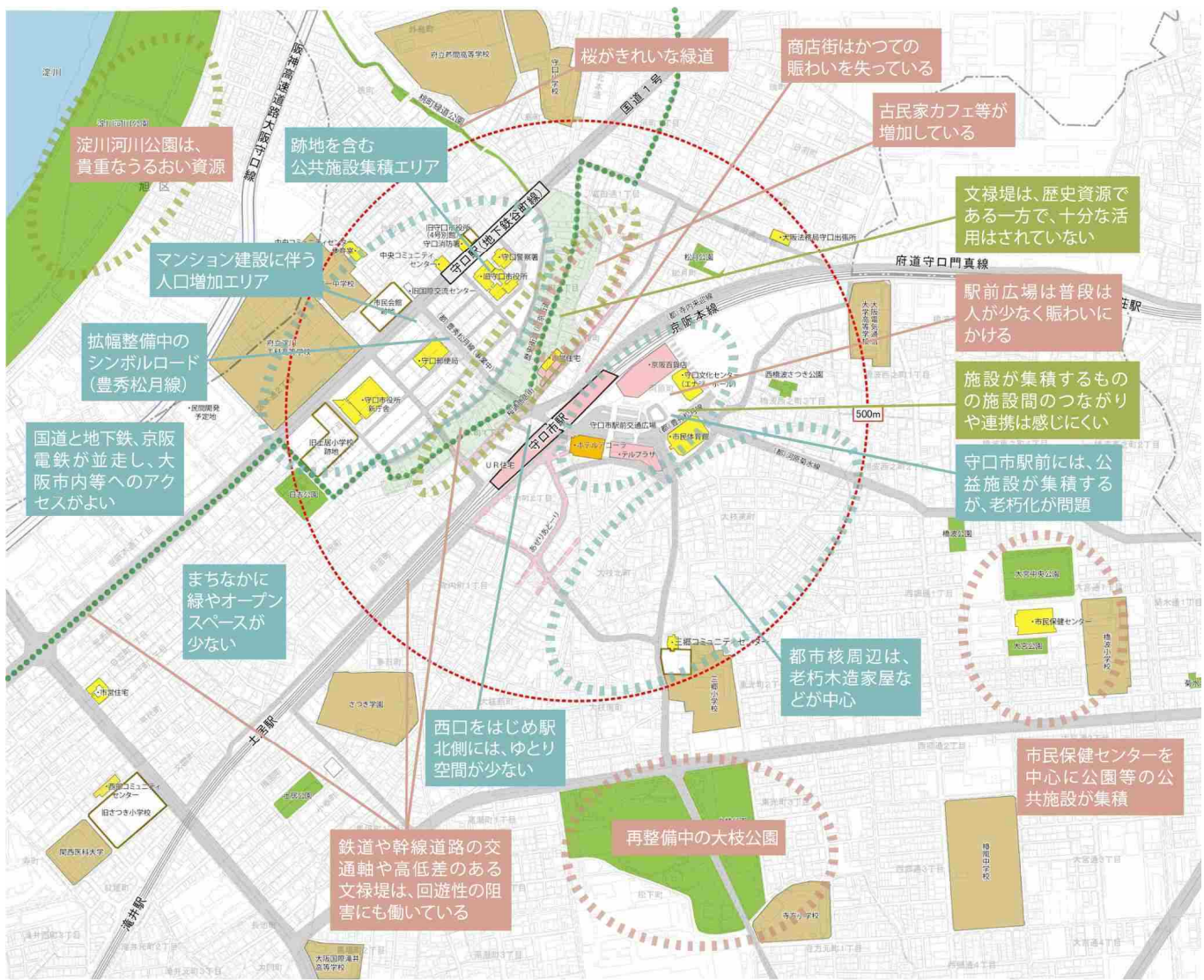
守口都市核周辺は、駅前広場では多数のイベントが開催されており、その際は多くの人で賑わいますが、普段の駅前是人通りが少なく寂しい印象です。また、駅前には公共公益施設が集積し、様々な方が利用しておりますが、施設をつなぐ要素が少ないこともあり、まち全体としての賑わいや回遊性が不足しています。そこで、オープンスペースを活用し、日常的な賑わいを創出するとともに、歩行者空間のネットワーク化などにより回遊性を高め、賑わいをつなぎ、交流を促進することで、都市活力を高めていく取り組みが必要です。

1. 日常を含めた駅前の賑わい創出
2. まちなかの憩い空間、滞留空間、賑わい空間の創出
3. 歩いて楽しい歩行空間のネットワーク化
4. 都市核周辺エリアとの連携強化

### 課題3 地域資源の活用と発信、多様な主体と連携した取組み推進による都市魅力の向上

守口都市核周辺には、歴史的資源である「文禄堤」やうるおい資源である「淀川河川公園」などがありますが、その整備活用が十分でないことなどから、魅力的な資源であることが十分に認識されていない状況にあります。そこで、「守口の個性」を活かしながらイメージアップを図り、資源を体験する場を創出するとともに、多様な主体と連携しながら持続的に都市魅力を向上させ、発信していく取り組みが必要です。

1. 地域資源の整備活用によるまちの魅力向上
2. 多様な媒体を活用したまちの魅力や情報発信の促進
3. 施設間の連携促進や地域と一体となった継続的な取組み推進



都市機能が集積する守口市駅前



京阪百貨店



新庁舎



都市計画道路豊秀松月線



淀川



文禄堤上の京街道